



「ジュニアショウ」最優秀賞

第15回酪農まつり (高根沢町)

美乳牛が勢ぞろい

花日和に恵まれた四月二日、第十五回酪農まつり(酪農とちぎ農業協同組合主催)が高根沢町の酪農とちぎ・ふれあい牧場で開かれ、多くの人たちが訪れた。

酪農まつりは、組合員相互の交流を図ると共に、消費者とのふれあいを通して酪農業への理解を深めてもらうというのが目的。

まずメインテーマであるホルスタイン共進会が行われ、県内各地から選りすぐりの乳牛が次々に登場した。北海道更別村の酪農家、天野洋一氏による厳正な審査の結果、最高賞のグラントチャンピオンと名誉賞シニアチャンピオンは、三年連続で伊藤高行氏(那須町)がダブル受賞した。



「信頼関係を大切にしたい」と、市川元基さん

この他、名誉賞ジュニアチャンピオンには真岡北陵高校、インターミディエイトチャンピオンには那須拓陽高校が輝いた。地域対抗牛群では、精鋭を揃えた那須地域酪農組合が優等一席となった。酪農後継者たちが出場する「ジュニアショウ」の部では、和泉空希ちゃん(那須塩原市・小学三年生)が晴れの最優秀賞を受賞した。入賞牛には「デリーイプリンセス」II 県農業大学校畜産経営学科二年生・ホルスタイン共進会愛好会IIの枝美咲さん、小林千鍼さん、田川なつきさんからリボンが付けられた。

酪農の道を目指して懸命に学んでいる県農業大学校ホルスタイン共進会愛好会からは、市川元基さんが昨年が続いて出場、晴れ舞台で堂々の姿を披露した。

市川さんは「乳牛も人を見てるので、世話をしている中から生まれる信頼関係を大切にしています。本番ではすぐく落着いて歩いてくれ、日頃の成果が出たのうれしい。帰ったらおいしいご飯をごちそうしてあげます」と笑顔を見せた。

県農業大学校の伊藤芳郎校長は「こうした勉強の機会を与えていただきありがたいことです。大舞台での経験を生かし、さらにいろいろな技術を積み重ねていつてもらいたい」と話している。

また、ふれあい広場では、疑似乳しぼり体験、バター作り体験、牛乳早飲み競争、ビンゴゲームなど盛りだくさんの楽しい催しが行われ、詰めかけた多くの家族連れが楽しんでいた。いろいろな模擬店も店開き、全酪連の焼肉無料サービスコーナーには長い列ができた。



最高賞の「グランドチャンピオン」



地域対抗牛群で優等一席となった那須地域酪農組合



天野洋一氏の審査



デーリプリンス（左から）枝美咲さん、小林千鉱さん、田川なつきさん



疑似乳しぼり体験



焼肉の無料サービスに長い列ができた



バルーンプレゼントに大喜び